

じんけんきょういく 「人権教育コラム」No.8

～「^{じぶん}自分を^{たいせつ}大切に^{してね}」^{せいきょういく}性教育で^{つた}伝えたいこと～

ほけんしつ
保健室

もり あ す な
森 明日菜

おおくぼ かおり
大久保 香織

「^{せいきょういく}性教育」というと何を思い浮かべますか？

「^{からだ}体の^{はついく}発育・^{はったつ}発達」や「^{せいめい}生命の^{たんじょう}誕生」といった内容をイメージする方が多いかもしれません。

^{じぶん}自分の^{からだ}体や^{せいめい}生命のはじまりについて知ることは、^し自分や^{まわ}周りの^{ひと}人の^{からだ}体や^{こころ}心を^{たいせつ}大切に^{する}するために、とても^{じゅうよう}重要なことです。しかし、それだけが^{せいきょういく}性教育ではありません。

本校の^{せいきょういく}性教育は、^{ほけん}保健の^{がくしゅう}学習の中だけではなく、^{かくきょうか}各教科や^{とくべつかつどう}特別活動など^{ぜんきょういくかつどう}全教育活動を^{つう}通じて、^こ子どもたちが^{じぶん}自分や^{まわ}周りの^{ひと}人を^{たいせつ}大切に^し（^{じんけん}人権の^{そんちよう}尊重）、^{ゆた}豊かな^{にんげんかんけい}人間関係を^{きず}築くことが^{もくひょう}できることを^{ひと}目標の一つとして^{すす}進めています。

例えば、^{たと}2年生では^{ねんせい}発育測定の後には「^{おへそ}おへそって^ななあに？」という^{かみしばい}紙芝居の^よ読み聞かせを^{まいとしおこな}毎年行っています。おへそがどのような^{やくわり}役割をしていたのかに加えて、^{くわ}約10か^{やく}月もの^{げつ}長い^{なが}間、^{あいだ}おなかの中で^{なか}大切に^{たいせつ}大切に^{まも}守られていたことを^{つた}伝えて^{なが}います。「^{あいだ}長い^あ間^{たの}会えるのを^{はな}楽しみにしていたので、^う生まれてきた^{とき}時はうれしくて^{すこ}少し^な泣いてしまった。」と^{じぶん}自分の^{たいけん}体験を^{はな}話してくれた^{せんせい}先生もいました。^う生まれてくる^{まえ}前から^{たいせつ}大切に^{まも}守られていたことを^し知り、^こ子どもたちは^{ひとり}一人ひとりが^{そんざい}かけがえのない^{さいかくにん}存在であることを^{また}再確認したようでした。

また^{きょうしつ}教室を^{まわ}回っていると、^ず図画工作科の^{がこうさくか}作品が^{さくひん}様々な^{さまざま}色の^{いろ}台紙に^{だいし}貼って^は掲示されていま^{けいじ}した。^{あお}青や^{くろ}ピンク、^{いろ}オレンジや^{なか}黒と^{いろ}たくさんの^{いろ}色の中から、^すそれぞれ^{いろ}好きな^{えら}色を選んだよう^です。^{せい}性によって^{いろ}色を^{くべつ}区別しないという^{かんが}考^{かた}え方や、^{こせい}個性を^{そんちよう}尊重する^{しせい}姿勢も^{せいきょういく}性教育につな^がる^{もの}ものと^{かんが}考^{かた}えています。

^{しおくさたて}塩草立葉^{しょうがっこう}小学校の^こ子どもたちが、
^{せいきょういく}性教育を通じて「^{じぶん}自分は^{たいせつ}大切な^{そんざい}存在である」と
いう^{じっかん}実感を持ち、^も自分も^{まわ}周りの^{ひと}人も^{たいせつ}大切に^{できる}ように^{そだ}育つよう、^とこれから^く取り組んで^{まいり}ます。

